

当日のプログラム（予定） ※日英通訳付き

3月10日(金)

13:30-13:40 開会挨拶（近藤駿介 原子力発電環境整備機構理事長）

13:40-14:30 講演「カナダにおける地層処分計画の現状と今後」
（ケン・ナッシュ氏 NWMO前理事長）

14:30-14:45 質疑応答

14:45-15:00 休憩

15:00-16:00 座談会

<登壇者>

ケン・ナッシュ氏（NWMO前理事長）

竹内純子氏（NPO法人 国際環境経済研究所 理事・
主席研究員、筑波大学客員教授）

近藤駿介（原子力発電環境整備機構（NUMO）理事長）

16:00 閉会

※都合により、当日のプログラムは変更になる場合があります。

（参考）登壇者の略歴

- ・ケン・ナッシュ氏（核燃料廃棄物管理機関（NWMO）前理事長）
英国サルフォード大学一級優等学位取得（機械工学専攻）。英国核燃料公社の燃料及び再処理部門勤務を経て、1981年にオンタリオ・ハイドロ社（オンタリオ・パワージェネレーション（OPG）社の前身）に入社。OPG社では、複数の上級職を歴任し、放射性廃棄物管理担当の上席副社長として、放射性廃棄物管理施設における許認可や環境影響評価、建設などの業務を担当。その後NWMO評議会の議長として、カナダ国民との対話を行いながら、使用済燃料の長期管理アプローチである「適応性のある段階的管理」（APM）の策定を監督しました。2006年から2016年までは、NWMOの理事長兼CEOとして、APMによるカナダの使用済燃料の長期管理計画を実施してきました。また、11カ国が参加する放射性物質環境安全処分国際協会（EDRAM）の会長も務めました。オンタリオ州のProfessional Engineers of Ontario（PEO）会員。
- ・竹内純子氏 NPO 法人国際環境経済研究所理事・主席研究員、筑波大学客員教授）
慶應義塾大学法学部卒。1994年東京電力入社。水芭蕉で有名な尾瀬の自然保護に10年以上携わり、農林水産省生物多様性戦略検討会委員等を経験。その後、地球温暖化の国際交渉や環境・エネルギー政策への提言活動等に関与し、国連の気候変動枠組条約交渉にも参加。2012年より現職。
- ・近藤駿介（原子力発電環境整備機構 理事長）
東京大学大学院工学系研究科博士課程（原子力工学専攻）修了。東京大学工学部教授（附属原子力工学研究施設）、同大学大学院工学系研究科教授（システム量子工学専攻）、同大学原子力研究総合センター長を経て、2004年6月同大学名誉教授。2004年1月から2014年3月まで内閣府原子力委員会委員長。2014年7月から現職。